

「うちどく」通信～2018.10～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕

【10/9 提出分】

提出数/人数 (欠席)

1年 とうき 『てぶくろ』エウゲーニー・M・ラチョフ Eラ 聞いた人：お母さん

とうき：たくさんのどうぶつが手ぶくろに入ってふくらんでいるのがおもしろかったです。お母さん：このお話は、おじいさんが森で手ぶくろを片方おとし、その中にたくさんのどうぶつたちが住みはじめのお話です。最後には、おじいさんのもとへ手ぶくろはもどりますが、たくさんのどうぶつたちが入っていたのでボロボロの手ぶくろになっていただろうなと思いました。

提出数/人数 (欠席)

4年 21/21 ☆GOOD☆
1年 17/17 ☆GOOD☆
2年 23/23 ☆GOOD☆
3年 18/19

4年 21/21 ☆GOOD☆
5年 23/25 (1)
6年 20/20 ☆GOOD☆
全校 122/125 (1)

1年 かえで 『まのいいりょうし』小沢正 Eオ 聞いた人：お母さん

かえで：どんべえさんは、さいしょはうまくてっぽうをつかうことができませんでした。でも、いのししがとれたからすごいなと思いました。お母さん：どんべえさんは、りょうしなのてっぽうが苦手…。おもしろい人だなと思いました。どんべえさんの「ま」のよさに、とてもうらやましく思いました。

4年 たける 『バムとケロのさむいあさ』島田ゆか Eシ

聞いた人：お母さん、弟さん

たける：バムとケロは、こおっていたあひるを助けたのでやさしいと思いました。お母さん：ケロがあひるのかいちゃんを好きで、トイレまでついていったところがかわいかったです。敬の弟も楽しく聞いていました。

2年 ゆうな 『せかいいちおいしいレストラン』あんびるやすこ EA 聞いた人：お母さん

ゆうな：さいしょにうさぎのレストランに行ったけど、みんななっとくしていなくて、せかいいちの人それぞれで、やっぱりぜんぶおいしいとわかりました。お母さん：どのレストランに入っても、みんなが笑顔になって「おいしい」と言う。それが世界一だということだったかとお話でした。

5年 まゆ 『かぐやひめ』舟崎克彦 Eキ 聞いた人：お母さん

まゆ：かぐやひめが、最後、月に帰ってしまったからかわいそうでした。お母さん：誰もが知っているかぐやひめですが、私は始めと終わりの部分しか記憶がなく、途中のお話は知らなかったのでもとても新鮮に感じました。かぐやひめが、いつも悲しい表情しているのが印象的でした。

2年 れお 『小・中学生のためのピッチングの教科書』成美堂出版 78 聞いた人：お母さん

れお：ピッチャーのなげかたは、せすじをまっすぐにしてなげることがわかりました。ぼくも、そうなげていきたいです。お母さん：「読む」というより「写真を見る」方が多かったのですが、それで理解している玲央は野球熱心だと思いました。

5年 こうよう 『はなちゃんのみそ汁』安武信吾 Eウ

聞いた人：お母さん

こうよう：はなちゃんは、お母さんが死んでしまったから毎朝みそ汁を作っていたのがすごかったです。ぼくは、そのことを考えたことがないので、お母さんに作り方を教えてもらって作りたいです。お母さん：「生きているということ いま生きているということ それは料理を作れるということ それは歌を歌えるということ それは友達と遊べるということ それはしゃべることができるということ いま幸せであるということ」はなちゃんが書いた詩があとがきに書いてありました。毎日、当たり前のように生活していますが、当たり前のことができるということは幸せなことだと思いました。

3年 かいおう 『やまたのおろち』羽仁進 (きょうかしよ) EH 聞いた人：お母さん

かいおう：むずかしいことばもあったけど、さいごまでよめてよかったです。そして、おろちのしっぽからけんがでてきたからびっくりしました。お母さん：やまたのおろちにむすめをさしだしたくないと悲しんでいたのに、だいじにしてやるかわりにむすめをよめにくれと言って、やまたのおろちをたおしたすさのおのみこともあんまり変わらないことをしているんじゃないのか？と、思いました。

6年 なお 『おしゃべりさん』さいとうしのぶ 913サ

聞いた人：お母さん

なお：好き嫌いがなくなるいい絵本だと思いました。えがらがとてもかわいかったです。お母さん：おしゃべりさんという本でした。パンやプチトマトやチョコレートたちが好き嫌いをしないようにおいしい食べ方を教えてくれる本でした。食べ物たちの人間味あふれる感じがとてもおもしろかったです。

3年 しゅんすけ 『わすれもの大王』武田美穂 ET 聞いた人：お父さん

しゅんすけ：わすれものをする人いい本だと思います。お父さん：みんなの期待にこたえるために、「明日は何をわすれようか。」と、明日持って行くものたちをチェックしているうちに、わすれなくなったのかなと思いました。問題を解決するのに行きづまったときには、思いきって視点を変えてみると答えが見つかるときもあるのかもしれないですね。「急がば回れ。」

4年 ゆい 『ぼくのニセモノをつくるには』ヨシタケシンスケ Eヨ 聞いた人：お母さん

ゆい：よしだけんたは、しゅくだいやおてつだい、へやのそうじと、やりたくないことだらけなので、おこづかいで安いロボットを買いました。ロボットにせいかくや自分のこと、家族のことを教えても、ロボットはお母さんの前に行ったらすぐばれました。お母さん：けんた君は、ロボットに自分のことをくわしく教えました。考えれば考えるほど自分というものはふくざつで、他に変わりにはできないと思います。自分を大事に、好きでいてほしいです。

6年 ゆうと 『いろいろな日』ドクター・スース ES

聞いた人：お母さん、弟さん

ゆうと：ぼくも、とってもいろいろな気持ちがあるので、絵本のような色だなと思いました。お母さん：オレンジ色のあったかい気持ちが続いてくれるとうれしいな。